

豊田市立飯野小学校4年生

2024年1月25日(木)



エコトークセッション

飯野小学校4年生41名は、
自然の私たちとのつながりを知り、
飯野の自然を守り続ける大切さを学びました。



1

6月26日(月)
土の中の生き物観察

かいだん坂の土をすくってきて、土の中にすむ生き物を調べました。生き物には、それぞれの役割があることがわかりました。



2

9月6日(水)
愛・シンパシワークショップ

カードゲームを通して、人間は自然や動物に対し、いためつけることができれば、逆に守っていくこともできるということを学びました。



3

9月15日(金)
エコアクション
(アイシン化工工場見学)

アイシン化工さんでは、部品をつくるときにゴミができるだけ出さない工夫や、使った水をきれいにするなど、エコ活動をたくさん学ぶことができました。



■市民講師

高山 博好 (NPO法人びすた~り)
宮田 賢輔 (Bio Garden With)

■アイシン化工株式会社

北村 昭太 川合 潤也
澤上 利貴 高橋 稔
那須 勝敏 志田原 淳
伊藤 海哉 平田 麻友美

■教育コーディネーター

荒井 直人 (NPO法人 アスクネット)

エコ宣言

ゴミを減らして、
より良い飯野をつくろう!

1

学び（座学） と 感じる（体験）

大切な地球と未来を
守るために、わたしたちにできること

土の中には、どのような生き物がいるのだろう？

土の中の虫がいるから
たくさんの動物がいるんだね。



座学

体験

2023年6月26日(月)

土の中の生き物観察

かいでん坂の土をすぐってきて、理科室で土の中にすむ生き物を観察しました。

土の中には、目に見えない小さい生き物もいると分かりました。土の中の生き物のふんで土ができるでいて、その生き物を鳥や大きな昆虫が食べている。それぞれの役割があるから、自然が成り立っていることが分かりました。



木をわったら土のようになっていました。今まで見たことがない虫がたくさんいました。土の中やおちばの下とかにはたくさん生き物がいるんだなと思いました。



いろいろな色のダニがいることが分かりました。つかまえた虫は、ムカデとダンゴムシみたいなのとムカデの赤ちゃんとホタルみたいな虫が入っていました。

かれ葉の下をさぐってみたらほんとうにミミズがいました。理科室に行ってバケツの中を見たら、細いミミズやでかくて太いミミズがたくさんいました。



2

シンパシー ワークショップ

2023年9月6日(水)

「川の生き物」や「人間」になつてみ、 どんな気持ちになつたかな?

「人間」「川の生き物」に変身して、その動物が食べている「食べ物」を取っていくカードゲームをしました。「人間」と「動物」ではちがうルールで進みます。「人間」は「動物」よりたくさんのかードを取れます。「人間」が「昔の生活」から「今の生活」に変わると、「人間」は好き勝手に川にあるカードを取っていけます。さらに「ブラックカード」を「食べ物カード」のなかに置いていくことができ、このカードを引いた動物は死んでしまいます。どうすればいいのかな?



市民講師
宮田 賢輔さん
(Bio Garden With)



動物によって食べられる(取ることができる)
カードが限られます。



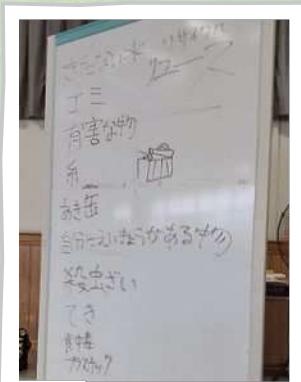
人間は自然や動物に対して、
いためつけることもできれば、
逆に守っていくこともできるということを学びました。


第1・2ゲームは平和だったけど、第3ゲームは人間が出てきてブラックカードを持っていました。私のすみかは1匹死んでしまいました。ポイ捨てをすると魚や虫が死んでしまうので、魚や虫たちが死なないように、みんなでもっと工夫し協力して頑張ります!!


あまりエサが食べられなかったけど、ゲームはすごく楽しかったです。ブラックカードを出さなくて済みました。人間はじゃま者達なのでとってもムカつきました。


カードゲームで人間が悪い事をしていることがわかった。人間の心が悪いから一人一人が気をつけないといけない。人間が環境破壊をしているとこれから自分が困るから気をつけたい。


ブラックカードを人間が捨てて、生き物がどんどんなくなって人間も自滅してしまうことがわかりました。生き物から命をもらい続けるだけで返せてないことがわかりました。これから生き物が生きやすい環境を作りたいです。



ゲームの後は「ブラックカード」が何かを考えました。



3

エコアクション

私たちも、毎日の生活で「エコ」ってできるんだ！

2023年9月15日(金)

アイシン化工さんへ工場見学に行きました。

会社がどんなエコをしているのか、アイシン化工さんへ工場見学に行きました。部品をつくるときにゴミができるだけ出さない工夫や、水の浄化、かんきょうにやさしい製品づくりなど、会社が行っているエコの取り組みについてたくさん学ぶことができました。



きたない水をきれいにして飯野川に流しているということがわかりました。とてもすごいなあと思いました。



事務所のゴミ箱が何個もあってアイシン化工はゴミの分別をがんばってしていました。それを見てすごいなと思いました。



イヤホンみたいなものをして工場の中を見学したのが楽しかったです。アイシン化工は、自然をとても大切にしていることがわかりました。



オゾンを酸素に変えるとどうぞ車にぬつたら、日本全部がきれいになると思いました。ぼくはそれを新幹線にぬつても良いと思いました。

プログラミングを使って 身近な「エコ」とどのように伝えるか考えました！



みんなに伝えるために 「エコプログラミング展覧会」をしました！

